

# OpenFOAM勉強会for beginner @関西

～勉強会@関西のご紹介～

幹事  
株式会社日本アムスコ 富原 大介

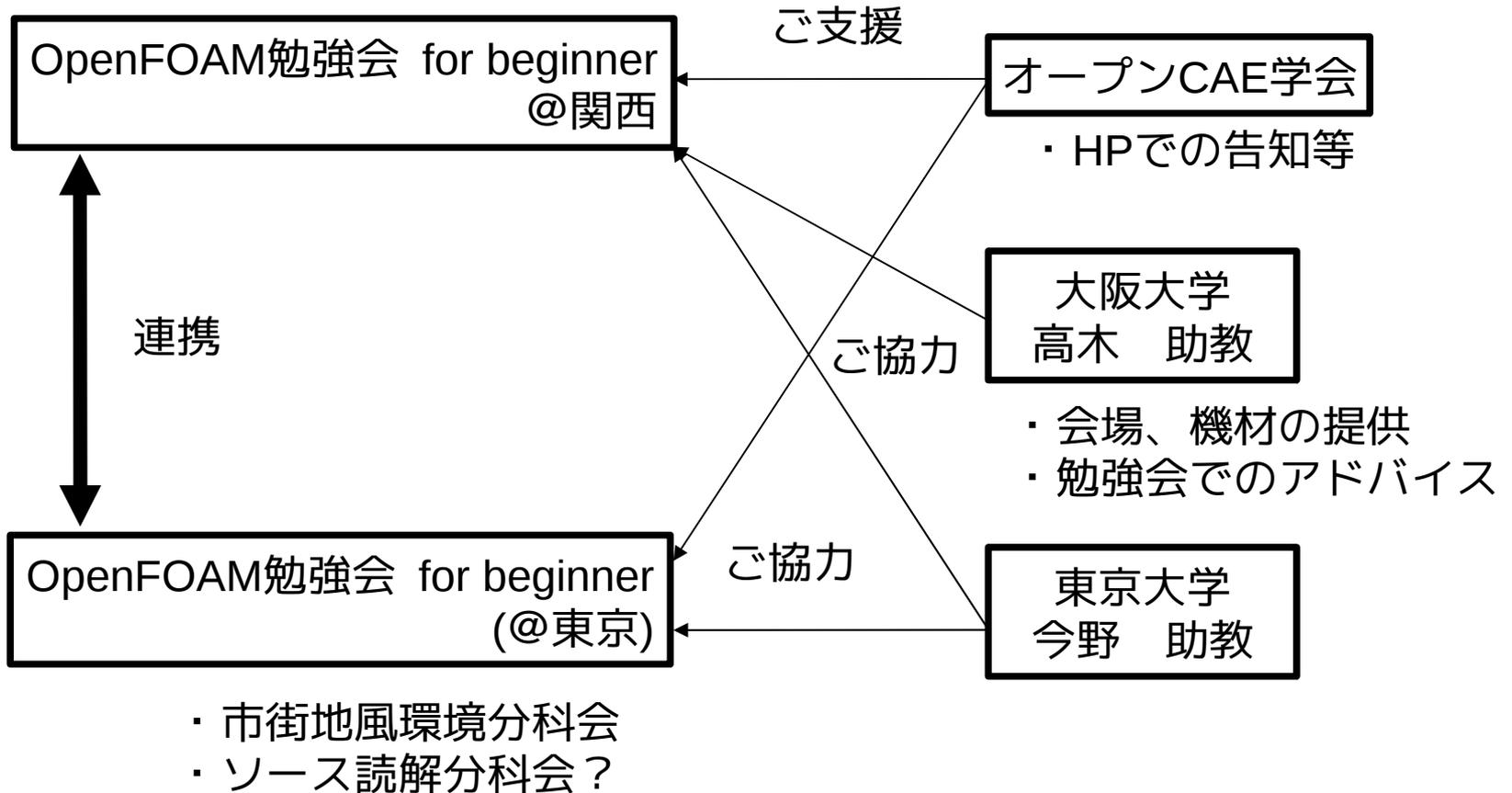
## 勉強会のコンセプト

- ・ 自ら実際にやってみることでOpenFOAMを理解する
- ・ 勉強会という場で発表、議論、質問をすることにより相互に理解を深める

## 勉強会の目的

- ① 各個人のOpenFOAMに対する疑問、問題点及びその解決策を共有する  
→月一回の定例会で参加者が発表することで・・・  
→解決策を参加者同士で議論することで・・・
- ② OpenFOAMの使用するにあたって想定される問題を協力して解決する  
→問題点を提示し各自が1カ月の中で取り組むことで・・・
- ③ ①、②において得られたことを、データとして蓄積する  
→勉強会としてのデータ蓄積  
→学会主催の初心者講習会や勉強会の講師ができるように・・・  
→オープンCAE学会で発表する・・・

## 勉強会の組織 & 外部団体との関係



## アドバイザー

高木 洋平 先生

大阪大学大学院基礎工学研究科

物質創成専攻化学工学領域岡野研究室 助教

今野 雅 先生(初回)

東京大学大学院工学系研究科

建築学専攻坂本研究室 助教

## アドバイザーの先生方をお願いしていること

(目的①に関して) 問題に対する意見、アドバイス

(目的②に関して) 意見、アドバイス+問題提示

(ベンチマークや、次に何を調べたらよいかなどのアドバイス)

## 参加者に期待すること

- ①参加
- ②自己課題や、勉強会として取り組む問題の作業の分担、実施、そして勉強会での発表
- ③問題の提起、勉強会を一緒に運営していただくこと

## そのために幹事として提供すること

- (1) 活動案などのアイデアの素案
- (2) 会としての活動に関しては、まず自分が  
(あるいは自分を含むグループが) 取り組む

## 活動案

### I ercoftacベンチマークの実施

毎回ベンチマークテーマを決めて各自が実施  
結果比較及び問題点を共有化

### II OpenFOAMの機能を使いこなす

毎回テーマを決めて各自がそのソルバーを使った解析を実施  
チュートリアル作成と解説書の作成  
結果及び問題点を共有化

→学会としてソルバーの使い方やチュートリアルを体系的に整理することを目指す

### III プログラムソースの分解と理解

毎回テーマを決めてソースを理解する  
担当を決めてプログラムソースの解説書を作成、毎回進捗を報告する

→学会としてプログラムソースの解説書を体系的に整理することを目指す

## 勉強会を通して自分はどうなりたいのか

- ・ OpenFOAMの理解
- ・ CFDの理解

## この勉強会をどうしたいのか

- ①継続
- ②積極的な参加者（参加の項②、特に③）を増やしていきたい
- ③常に「beginner」から「上級者」を目指す人の、  
入り口としての役割を果たす場にしたい

まだまだ発展途上の勉強会です。  
皆様の参加をお待ちしています！！

こんな人を求めています。

- ①大学生、大学院生
  - @関西では学生の参加も多く、
  - OpenFOAMを学びたい学生を応援しています。
- ②関西近郊の、流体解析初心者の方
  - 構造はできるけれど、流体は触ったことない
  - 解析自体初心者
- ③関西近郊の、流体解析上級者の方
  - 流体解析の初心者の集まりです。
  - OpenFOAMに限らず、CFDのお話を是非お聞かせください。